

SJクイズ ?

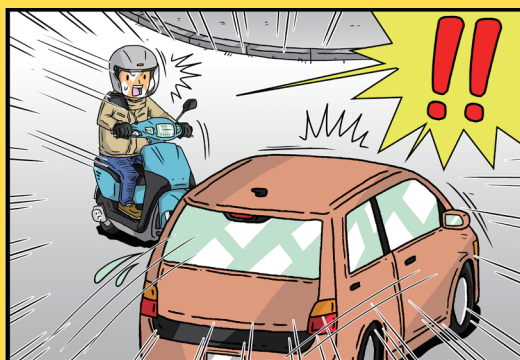
[問題編]

Q₁

2018年の二輪車（自動二輪・原付）の交通事故件数（第1・第2当事者※）を事故類型別にみると、最も多いのは「出会い頭衝突」です。では、2番目に多いのは次のうちどれでしょう？

①追突 ②右折時衝突 ③左折時衝突

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は、被害がより大きい方の当事者。



Q₂

二輪車が第2当事者の場合、事故の相手（第1当事者）は9割以上が四輪車です（2018年）。四輪車（第1当事者）の事故の人的要因をみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

①発見の遅れ（前方不注意、安全不確認）
②判断の誤り等（動静不注視、予測不適、交通環境）
③操作上の誤り（操作不適）

Q₃

2018年の二輪車乗車中の交通事故死者数を年齢層別にみると、自動二輪では40～49歳が最も多くなっています。では、原付で最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

① 40～49歳 ② 60～69歳 ③ 70～79歳

【使用上の注意】

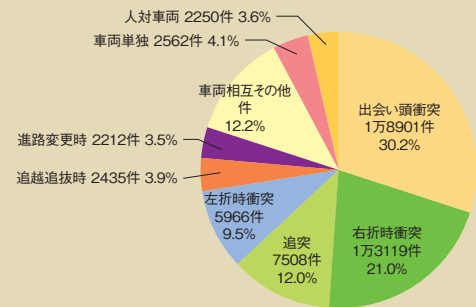
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ② 右折時衝突

<解説>

2018年の二輪車（第1・第2当事者）の交通事故件数6万2513件を事故類型別にみると、最も多いのは「出会い頭衝突」（30.2%）で、「右折時衝突」（21.0%）と続く。二輪車は四輪車に比べ車体が小さいため、相手（対向車）からは遠くに見えたり、速度も実際より遅く見えてしまう。右折待ちをしている四輪車がいる時は、相手の動静によく注意し、減速して交差点に進入することが大切である。

●二輪車（第1・第2当事者）の事故類型別・交通事故件数（2018年）



※出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

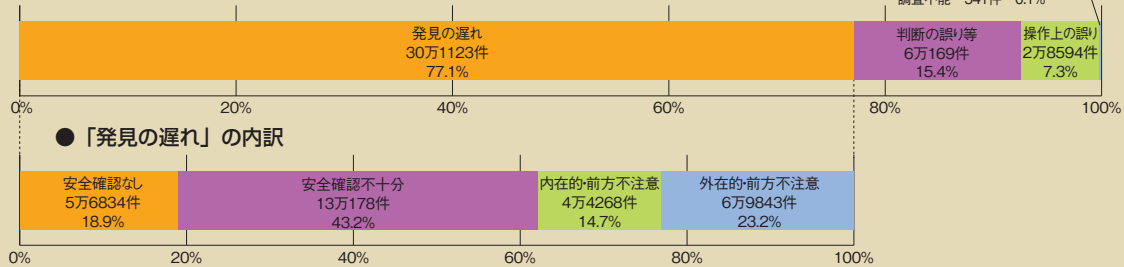
Q2 解答 ① 発見の遅れ（前方不注意、安全不確認）

<解説>

二輪車が第2当事者の場合、事故の相手（第1当事者）は9割以上が四輪車である。四輪車（第1当事者）の事故の人的要因をみると、「発見の遅れ」が77.1%で最も多い。

さらに「発見の遅れ」の内訳をみると、安全確認不十分が半数近く（43.2%）を占めている。安全確認は行ったが発見が遅れたということは、二輪車は四輪車から見落とされる可能性が高いといえるだろう。二輪車のライダーは「四輪車から見落とされているかもしれない」と常に意識して運転することが重要である。

●四輪車（第1当事者）の人的要因別・交通事故件数（2018年）



*内在的とは居眠りや漫然運転など、外在的とはオーディオ・ナビなどの操作や脇見など

※出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

Q3 解答 ③ 70～79歳

<解説>

2018年の原付乗車中の交通事故死者数212人を年齢層別にみると、原付では70～79歳が21.2%で最も多い。60歳代や80歳代も多く、65歳以上の高齢者で全体の半数近く（47.6%）を占めている。高齢のライダーは自分の身体機能の低下を理解し、スピードを控えたり、安全確認をより慎重に行うなど、身体の変化に対応した運転を実践する必要がある。また、頭部を損傷することで死に至るので事故に遭った時、ヘルメットが脱落しないように、あごひもはしっかり（指一本が入る程度）締めてほしい。

※出典：警察庁資料

[使用上の注意]

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736